

入場無料



♪ 語りと音楽のハーモニーでお届けする

かのん

花音朗読コンサート 2023

前田夕暮生誕140周年記念

前田夕暮の世界

～ふるさとのうた～

明治16年7月27日に南矢名に生まれた歌人前田夕暮。
今年は生誕140年の記念の年に当たります。夕暮の短歌や散文
の魅力を音楽と朗読でご紹介します。



2023年

10/9

(月曜日・祝日)

開場：午後1時45分

開演：午後2時

(午後3時30分終了予定)

会場：秦野市立図書館視聴覚室

定員：60人(申込み先着順)

★申込受付は9月1日(金)より。お電話もしくは、
直接カウンターにてお申込みください。

申込み・問い合わせ：秦野市立図書館

TEL:0463-81-7012 住所:秦野市平沢94-1

URL:<https://library-hadano.jp/>



出演：語りと音楽・花音

ぬかだ いずみ おおはな かおる
〈朗読〉額田 泉・大花 薫

さねちか ふさえ
〈電子ピアノ〉実近 房枝

♪花音ブログ

<http://ameblo.jp/kanon-2006/>

前田夕暮(1883~1951)



明治44年 29歳
『前田夕暮全集』より

本名洋造。神奈川県大住郡南矢名村(現在の秦野市)に生まれた。明治37年上京して尾上柴舟に師事。明治43年、第一歌集『収穫』を刊行。若山牧水とともに自然主義短歌の代表的歌人として認められ、翌年、主宰誌「詩歌」を創刊する。大正期にはいると西洋美術の影響を受けて外光派的歌風を拓き、『生くる日に』(大正3)、『深林』(大正5)を刊行した。大正10年代には「日光」の「創刊」に参加し、北原白秋とともに口語歌や散文集『緑草心理』の刊行など多彩な活動を展開した。昭和期には自由律短歌運動に転換し新たな短歌の可能性を目指したが、のち定型に復帰した。昭和26年没。歌集は13冊、散文集は9冊をかぞえる。『前田夕暮全集』全5巻(角川書店、昭和47-48)が刊行されている。

『今こそ読みたい近代短歌』山田吉郎ほか編より

花音♪メンバープロフィール

語りと音楽・花音は、2005年10月に結成したナレーターとピアニストのトリオ。神奈川県や都内の文学館、図書館、美術館などで朗読コンサートを展開。ピアノ演奏とともに朗読するスタイルで、多くの朗読ファンを魅了している。



ぬかだ いすみ
額田 泉

〈朗読〉

司会、ナレーション、朗読、話し方講師として活躍中。現在、FMおだわらパーソナリティー。

さねちか ふさえ
実近 房枝

〈電子ピアノ〉

ピアニスト。合唱や管・打楽器の伴奏、ピアノ講師として活躍中。秦野市楽友協会会員。

おおはな かおる
大花 薫

〈朗読〉

TV番組、CMやVP、DVDなど、様々な分野でのナレーションを中心に活躍中。



♪秦野市立図書館では花音朗読コンサートを平成20年から開催し今回で16回目となります